

# 5 用語解説

## あ行

### アダプトプログラム

市民、NPO等が道路や公園などの公共施設の里親になり、ボランティアで美化活動や管理を行う制度。東海市では公共施設の花壇等を対象に平成16年度から実施している。

### EM処理剤

EMとは、Effective Microorganisms（有用微生物群）の頭文字をとった用語。EMを米ぬか・もみ殻・糖蜜と一緒に混ぜ合わせて作ったものがEM処理剤で、生ごみと混ぜ発酵させると生ごみ堆肥になり、生ごみの減量を図ることができる。

### 硫黄酸化物

硫黄の酸化物の総称。石油や石炭など物の燃焼に伴い、含有される硫黄分が硫黄酸化物として大気中に排出される。大気汚染防止法に基づく排出ガスの排出基準では硫黄酸化物(SO<sub>x</sub>)の濃度を、大気環境中(環境基準)では硫黄酸化物のうち二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の濃度を、それぞれ対象としている。

### エコ事業所

環境に配慮した取組みを自主的、積極的に実施している事業所について、自治体が一定の基準を定めて認定する制度で、名古屋市などで実施されている。入札時の業者選定に反映させるなどして、取組みの支援、環境配慮の促進を図っている。

### エコマーク商品

環境への負荷が少ない、環境の改善に役立つなど、環境に配慮した、いわゆる環境に優しい製品を示すマーク。製造業者等からの申請により、財団法人日本環境協会が審査、認定している。認定された商品には、エコマークを付すことが認められる。

### NPO

Non-Profit Organization（非営利組織）の頭文字をとった用語。政府や企業とは独立した存在として、市民、民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織、団体をいう。環境基本計画では特定非営利活動法人格を取得した団体に限らず、ボランティアグループ、任意団体やコミュニティ、町内会、自治会などの地縁組織も含めている。

### オゾン層

成層圏に存在するオゾン(O<sub>3</sub>)の層。太陽光に含まれる有害な紫外線を吸収する性質があり、地上の生物を守る働きをしている。

## か行

### 外来種

帰化種、移入種ともいい、外部から入ってきた外来の種で、自然繁殖して個体群を維持できる状態になり、生物多様性を変化、脅かす可能性のある種をいう。これに対し、その地域に従来から生育、生息する種を在来種という。

### 合併処理浄化槽

風呂、台所などから出る生活雑排水と、し尿とを併せて処理する浄化槽。公共下水道の整備区域外での生活排水の処理、河川などの公共用水域の水質改善に有効である。一方、単独処理浄化槽はし尿しか処理できないため、合併処理浄化槽へ転換する必要性が指摘されている。

### カレットびん

ガラスびんのリサイクルの方法には、粉碎等した後、再生原料（ガラス溶融時に原料と共に加えるガラスくず：カレット）としてガラス製品の製造に用いる方法があり、再生原料として利用するびんをカレットびんという。

### 環境基準

環境基本法により定められている、大気汚染や水質汚濁、土壌汚染、騒音などに係る環境上の条件について、それぞれ人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましいとされる基準。公害発生源を直接規制するための基準（＝規制基準）とは異なる。

### 環境保全林

道路沿線や工場周辺に整備する環境保全や防災を目的とした緑地で、本市では平成16年度から整備を進め、平成17年度には整備スケジュール等を整理した環境保全林基本構想を策定している。

### 環境ホルモン

動物の生体内に取り込まれた場合に、本来その生体内で営まれている正常なホルモン作用に影響を与える外因性の物質（外因性内分泌攪乱化学物質）を通称、環境ホルモンと呼んでいる。環境ホルモンによる環境汚染は、科学的には未解明の点が多く残されているが、世代を越えて深刻な影響をもたらす恐れのある環境保全上の重要な課題となっており、代表的にはビスフェノールA、フタル酸エステル、トリブチルスズなどがあげられる。

### 緩衝緑地

排ガスや騒音の影響を緩和するために発生源と住居等の間に設けられる緑地。防風林も広義には緩衝緑地であるが、環境基本計画では、臨海部工業地帯と市街地の間に設けられた緑地（大池公園から聚楽園公園に至る東海緑地）を指している。

### 揮発性有機化合物（VOC）

常温常圧下で容易に揮発する有機性化合物の総称で、VOCはVolatile Organic Compoundsの頭文字をとった用語。炭化水素系の物質を主体とし、光化学オキシダントの生成に関与していると考えられており、大気汚染防止法により、排出が規制されている。

### 協働・共創

共創とは、東海市に関わる人たちが「共に」手を携えて、自分たちのまちを「創る」ことを意味し、協働・共創が目指す目標は、その地域が市民にとって、より良い地域となることである。

### グリーン購入

商品等の購入に際して、環境への負荷が出来る限り小さいものを優先的に購入するように努めること。「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づき、地方公共団体についても、環境に配慮したものを購入することが求められている。

### 公害防止協定

地方公共団体と企業の間で交わした公害防止に関する約束。

### 光化学オキシダント

大気中の窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）や炭化水素類（HC）が、紫外線を受けて光化学反応を起こし二次的に生成される酸化性物質で、光化学大気汚染（いわゆる光化学スモッグ）の原因物質とされる。その発生は、気温、風向、風速、日射量などの気象条件に大きく左右され、主に夏季に高濃度となりやすい。

### 降下ばいじん

大気中に排出されたばいじん、地表から風などにより舞い上がった土粒子などの粉じんのうち、粒子径が大きく、空気中に浮遊することが出来ずに落下するもの、及び、雨等に取り込まれて降下するものをいう。

### ごみ指定袋制

本市では、平成7年12月より、ごみの減量化、最終処分場の延命化を図る目的で導入した。各世帯に一定枚数を無料配布し、これを超える指定袋については有料配布としている。

## さ行

### 里山

農家の裏山や人里近くの丘陵、低山帯に広がる農用林を指していることが多い。里山は、稲作農耕文化と深く関わりを持ちながら形成された林で、周囲の水田やため池、水路、河川と共に豊かな生物を育み、まとまりのある景観をつくりあげてきた。最近では、周辺環境を含めて、里山と呼ばれることも多い。

### COD（化学的酸素要求量）

水中の有機物を酸化剤で分解する際に消費される酸化剤の量を酸素量（mg/l）に換算したもので、海水や湖沼水質の有機物による汚濁状況を測る代表的な指標。測定法にはいくつかあるが、わが国では過マンガン酸カリウムを酸化剤に用いて、試料を酸性で反応させて測定する方法（100℃で30分間反応させたときの過マンガン酸カリウムの消費量から換算する方法）が多く用いられている。この数値が高いほど有機物の量が多く、汚れが大きいことを示している。

### 資源集団回収

本市では、町内会・自治会、子ども会等の団体が主体となって地域で資源（紙類、布類、缶類、びん類）の回収を実施している。

### 資源分別回収

本市では、一般家庭を対象に、市内拠点場及び清掃センター常設場で資源（紙類、布類、缶類、びん類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、天ぷら廃油）の回収及び市内スーパー等の店頭でペットボトルの回収を実施している。

### 新エネルギー

化石燃料（石油、石炭）や核エネルギー、水力発電などによらない、新しいエネルギー源や供給形態をいう。「新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法（新エネルギー法）」（1997）で定める「新エネルギー等」としては、再生可能な自然エネルギー（太陽光発電、風力発電など）、リサイクル型エネルギー（廃棄物発電（廃プラは除く）など）、コジェネレーション、燃料電池、食品廃棄物や廃材などを発電に利用するバイオマス、雪や氷を活用する雪氷冷熱等の新しい利用形態のエネルギーが含まれる。

### 総合計画

地方自治法に基づき策定する総合的かつ計画的なまちづくりを進めるための指針。第5次東海市総合計画は市民により構成される市民参画推進委員会を中心とした市民の手作りによる計画となっており、初めての試みとして各政策の進み具合を測ることができる「成果指標」と「めざそう値」を設定している。

## た行

## ダイオキシン類

有機塩素化合物のポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン（PCDDs）及びポリ塩化ジベンゾフラン（PCDFs）の総称。ダイオキシン類対策特別措置法においては、コプラナーPCBを含めて「ダイオキシン類」という。毒性が強く、その環境汚染が大きな問題となっている。廃棄物の焼却過程が主な発生源とされたため、施設の改造、廃止などの排出削減対策が採られた。塩素の結びつきにより、PCDDsは75種類、PCDFsは135種類、コプラナーPCBは十数種類の異性体に分けられており、異性体毎に毒性が異なるため、等価毒性（TEQ）にて評価する方法を採っている。

## 地球温暖化

地球をとりまく大気中の二酸化炭素、メタン、フロンなどの微量ガスは、地表から宇宙へ放出される赤外線を吸収する性質を持ち、地表の温度を生物の生存に適した程度に保っているが、近年、これらのガスの大気中の濃度は確実に増加しており、地表の温度が上昇することによって、人間をはじめ、広く生態系への深刻な影響が懸念されている。

## 地産地消

地域で生産された材（食品、建築資材など）を、その地域で消費しようという考え方。

## 窒素酸化物

窒素の酸化物の総称。石油や石炭など物の高温燃焼の過程で一酸化窒素（NO）のかたちで生成され、大気中に排出された後、酸化して二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）となる。大気汚染防止法に基づく排出ガスの排出基準では窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）の濃度を、大気環境中（環境基準）では窒素酸化物のうち二酸化窒素の濃度を、それぞれ対象としている。

## 低公害車

既存の自動車（ガソリン車、ディーゼル車）に比べ、窒素酸化物や二酸化炭素などの排出量の少ない自動車をいう。一般的には電気自動車、メタノール自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車を指すが、国の「低公害車開発普及アクションプラン」では、これらに「低燃費かつ低排出ガス認定車」が加わり、「クリーンエネルギー自動車」という概念では「LPG車」が加わり「低燃費かつ低排出ガス認定車」は除外される。

## 低燃費車

「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づき定められた燃費基準（トップランナー基準）を早期達成している自動車をいう。

## 低排出ガス車

「低排出ガス車認定実施要領」に基づく低排出ガス認定車をいう。認定基準として、乗用車、軽量車、中量車、軽貨物車などの車種別に、CO、NMHC（非メタン炭化水素）、NO<sub>x</sub>、PM、ホルムアルデヒドの基準値が設定されている。

## 典型7公害

環境基本法では、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭をあげている。

## 都市・生活型公害

各種製造工場、畜産業などに起因する公害に対して、サービス業など住民の日常生活に直接関係する活動から発生する公害をいう。

## は行

## パークアンドライド

駅に設けた駐車場に自動車を駐車し、都心への通勤等移動は電車などの公共交通機関を用いることで、都心乗り入れ車両の削減を図るシステム。自動車の走行距離を減らし、大気汚染防止、二酸化炭素排出削減、渋滞緩和などの効果が期待出来る。

## ばい煙

大気汚染防止法では、①燃料その他の物の燃焼に伴い発生する硫黄酸化物、②燃料その他の物の燃焼又は熱源としての電気の使用に伴い発生するばいじん、③物の燃焼などに伴い発生する有害物質（窒素酸化物、鉛、カドミウム、塩素・塩化水素、フッ素・フッ化水素・フッ化珪素）をいう。

## 灰溶融炉

本市では、コークスベット式灰溶融炉（処理能力15t/日）2基が稼働中で、鉄、アルミを除いた破碎不燃物と焼却灰について、コークスを燃料とし1,700℃の高温で溶融処理する。

溶融処理により得られた「溶融スラグ」は路盤材やコンクリート用骨材として、「メタル」は建設重機のカウンターウエイト(おもり)として利用される。

### BOD（生物化学的酸素要求量）

溶存酸素の存在のもとで、水中の有機物質が好気性微生物により、生物化学的酸化分解され安定化する際に20℃で5日間に消費される酸素量をmg/lで表したものをいう。河川などに放流された排水中の有機物は、水中の微生物により酸化分解され、炭酸ガス、水、アンモニアなどになる。その際水中の溶存酸素が消費されるので数値が高いと、有機物質濃度が高く汚染されていることを示す。すなわち、BOD値が高いことは、その排水中に分解されやすい有機物質が多いことを意味し、河川に放流されると溶存酸素を高度に消費し、魚介類に被害をもたらす。人為的汚染のない河川では通常1mg/l以下である。

### ヒートアイランド現象

都市部において、高密度にエネルギーが消費され、また、地面の大部分がコンクリートやアスファルトで覆われているために水分の蒸発による気温の低下が妨げられて、郊外部よりも気温が高くなっている現象をいう。等温線を描くと、都市中心部を中心にして島のように見えるためにヒートアイランドという名称が付けられている。

### 飛灰

ごみを焼却炉で焼却処理する際、排ガス中に含まれバグフィルタなどの集じん装置で捕集された固形物（ばいじん）をいう。

化学的には融点（1,250～1,350℃）が高く、鉛、亜鉛、カドミウムなどの低沸点重金属やダイオキシン類の含有率が高いため、飛灰は直接埋立処分することができず、熔融固化、セメント固化、薬剤処理などによる中間処理（溶出防止）が義務づけられている。

### 富栄養化

窒素化合物やリン化合物などの栄養塩類が流入し、水中の栄養塩類濃度が上昇することをいう。特に、湖沼、湾内などの閉鎖性水域が富栄養状態になると、植物プランクトン等の増殖が促進され、赤潮などの原因になると考えられている。

### 浮遊粒子状物質

自重で落下せず、大気中を浮遊する物質をいう。このうち粒径が10μm（マイクロメートル）以下のものについては、そのほとんどが気道または肺胞に沈着し、人の健康に影響を与えることから、「浮遊粒子状物質」として環境基準が定められている。

### 粉じん

大気汚染防止法では、物の破砕、選別その他の機械的処理又はたい積に伴い発生する物質をいう。

## や行

### 要請限度

自動車騒音、又は道路交通振動により、道路周辺の生活環境が著しく損なわれるとして、市町村長が都道府県公安委員会に対して、措置をとることを要請する限度となる騒音、又は振動の大きさをいう。

## ら行

### らんらんバス

高齢者や移動困難者など地域住民の足の確保と利便性の向上のため、平成16年4月より本格運行を開始した市営バス。交通空白地域や公共施設等を巡回し、市民生活における交通手段を確保している。

### リターナブルびん

ビールびん、酒の一升びん、牛乳びんなど、繰り返して使用されるびんをいう。一度しか使用しないワンウェイびん（カレットびん）に比べ、環境への負荷が少ないと言われているが、ペットボトル、ワンウェイびんの普及で使用量が減少してきている。

### LOHAS

Lifestyles of Health and Sustainability（健康的で持続可能なライフスタイル）の頭文字をとった用語で、環境基本計画では環境、健康、自己実現、持続可能な暮らしなどを重視するライフスタイルを意味する用語として使われている。